

生活だより

NO. 3

平成24年 6月 4日

広島市立牛田中学校

(生徒部 増野 秀治)

登下校時における生徒の安全確保と学校からのお願い

5月になって、不審者との遭遇や帰宅した後や休業中などの校外における事故が地域でありました。生徒の安全確保に向かって今後も、見守っていきますのでご家庭でもご協力をお願いします。

また、PTA生活部の活動として、6月14日より3年1組の保護者から順に「朝のあいさつ運動」「夕方安全パトロール」でご協力いただきます。学校におきまして、次の点を中心に指導しておりますので、ご家庭でも十分話し合いをしてください。

- ① 様子がおかしいと思われる人には近づかない、声をかけられても関わらない。
- ② 登下校及び帰宅後は、複数で行動する。
- ③ 危険を感じたら、大声で大人に助けを求める。「子ども110番」の家、もしくは近くの民家や店舗に逃げ込む。
- ④ すぐに学校や警察に連絡する。
☆広島東警察署 258-0110
☆牛田交番 228-3526
- ⑤ 近道でも、暗い道や人通りの少ない道、危険と思われる場所は通らない。
- ⑥ 下校時間を守る。寄り道をせず、登下校する。
- ⑦ 不審者に遭遇したら、まず、自分の身の安全を考える。また、不審者の特徴（性別・体格・髪型・服装・装飾品）や自動車のナンバー、車種などを保護者を通じて警察、学校に連絡する。（緊急の場合は、110番通報する）
- ⑧ 防犯ベルを携帯しておく。

また、地域の諸団体や警察署との連携も図り、パトロール強化をお願いしております。不審者やトラブルはいつ、どこで発生するか分かりません。保護者の皆様の見守りが生徒を事件・事故に巻き込ませないことにつながります。つきましては、普段の通勤やお買い物等のときに地域を見ていただくとともに、生徒にしっかりとご指導をしていただきますよう、ご協力をよろしくお願い致します。

万一、恐喝・いじめなどの被害にあった場合、「仕返しが怖くて泣き寝入りする」ことがないように、学校・保護者・地域が連携を深め、問題解決していきたいと思っておりますので、『子どもの様子がおかしい』『原因のわからない傷がある』『家でよくお金がなくなるようになった』など気になることがございましたら、学校までご相談ください。

また、これらの件につきまして、ご不明な点・ご不審な点・生徒の行動全般・地域での情報等

もありましたら、学校へご連絡をお願いいたします。関係機関と連携、協力していきます。

最後に、学校でも生徒部を中心に登下校時に巡視を計画・実施しておりますので、保護者の皆様もご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

事件等につながるものとして、次のようなことにも気をつけましょう。

- ◎留守家庭や子どもしかいない家庭に電話をし、そのことを確認した後に宅配や新聞販売店として訪ね、家に上がり込む。(強盗、いたずら事件等)
 - ◎子どもしかいない時間帯に警察・役所・学校などを名乗って電話をし、学級や学年の友人宅電話番号を聞きだす。(教材の押し売り、一方的な送付と請求事件等)
 - ◎大きな店や本屋、ゲームセンターなど、他地区へ友人と出向き、トラブルに巻き込まれる。または、トラブルを起こす。(万引き、窃盗、恐喝、暴行事件等)
- ※ご家庭でも十分ご注意ください。

これから暑くなります。水難事故に注意しよう！！

5月の終わり頃から、日中の気温が25℃を超える夏日が続いています。そのうち30℃を超える真夏日になります。湿度も高くなり、水遊びがしたくなる季節となりました。

しかし、「水」は「火」と同じで、最悪の場合は命を奪います。そこで、次のことを知っておき、行動に気をつけてください。

- ◎アストラムラインに沿って流れる太田川はもちろん、広島市の全ての河川は遊泳禁止となっています。
- ◎広島市近郊の河川は遊泳禁止ではありませんが、事故やトラブルが発生したときのことを考えれば保護者または保護者が依頼した責任ある大人の同伴が必要です。
- ◎川岸などへ繫留している漁船やボートなどに許可なく乗り込まない。もし、器物を損壊させると数千万円の損害賠償になる場合もあります。

☆破損箇所の「修理費」、船を動かさない期間の「漁業補償」、船の持ち主のその期間の「生活保障」などで、高額な賠償金になると以前聞いたことがあります。

- ◎海水浴場へ行く場合も同様に、保護者または保護者が依頼した責任ある大人の同伴が必要です。

- ◎海での遊泳は、「離岸流」に気をつけましょう。

☆離岸流・・・海岸や岩場にうちよせた波が海に戻るときに起こる強い流れ。場合によっては、流れに巻き込まれて沖まで流されます。また、いくら海岸に向かって泳いでも離岸流で海岸にたどり着けなくなり、体力だけが消耗していくことにもなります。

- ◎心肺蘇生は、心肺が停止して脳に酸素が送られなくなって5分が境界といわれています。